

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動レポート vol. 50



■さぎさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 53歳 逗子市沼間1-8-2

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）匂坂豊店入社

逗子市商工会青年部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子ロータリークラブ会長

沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員

逗子市消防団員・逗子ポイントカード事業協同組合副理事長・逗葉建設組合副組合長

家族構成：妻と長女 次女(大学生) 長男(高校生)

議会職歴：副議長・総務常任委員長・教育民生常任委員長・議会運営委員長

監査委員・予算特別委員長・決算特別委員長・基地対策特別委員長

現在 4期目 所属会派 市政クラブ

令和5年第2回定例会報告

第2回定例会が6月9日～23日に行われました。今定例会の主な議案は、令和5年度の一般会計補正予算(可決)、介護保険事業特別会計補正予算(可決)、下水道事業会計補正予算(可決)、工事請負契約の締結について(可決)、訴訟上の和解について(可決)、葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議について(継続審議)、逗子市印鑑条例の一部改正について(可決)、逗子市職員の特殊勤務手当に関する条例及び逗子市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について(可決)、逗子市市税条例の一部改正について(可決)、逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について(継続審議)、逗子市火災予防条例の一部改正について(可決)、教育委員会委員の任命について(可決)、情報公開審査委員の委嘱について(可決)、個人情報保護委員の委嘱について(可決)、その他に陳情、意見書案が審議されました。

「葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議について」～継続審議に～

今定例会の総務常任委員会で、「葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に係る協議について」が審議されました。逗子市では葉山町と共同で令和7年3月から開始予定の現在、燃やすごみとして焼却処分している「生ごみ」を分別回収し、葉山町に新設予定の生ごみ資源化処理施設で資源化する事業を進めています。今回の議案は、逗子市の生ごみの資源化処理施設の整備運営に関する事務の管理及び執行を葉山町に委託するにあたり、葉山町と協議することについて、議会の議決を求めるものです。委員会での主なる質疑は、施設の建設改良費(資本費)の逗子市と葉山町との按分についてでした。当初、逗子市と葉山町は、建設改良費(資本費)は「搬入量で按分」で進めていましたが、今回示された「葉山町と逗子市との生ごみ資源化処理施設の整備運営に関する事務委託に関する協定書(案)」によれば、建設改良費(資本費)の按分が「人口で按分」となっていて、その経緯、理由について質疑が多くありました。委員会での採決の結果、継続動議が提出され、継続審議となりました。この議案に関連する「逗子市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例の一部改正について」も継続審議となりました。

東逗子地域の活性化～駅前用地整備計画～

高齢者の移動手段の確保の検討状況は

質問

昨年度、JR東逗子駅前用地整備計画の基本構想が示され、住民説明会が行われました。今年度は基本計画の策定を予定しているとのことだが、どのようなスケジュールで進めていくのか。

市長

基本計画は、設計施工の根幹となることから、重要な段階と考えている。5月から7月にかけて、集約予定の公共施設に関係する審議会等への説明と意見聴取をし、その後ワークショップを行い、来年1月以降に市民説明会、パブリックコメントを予定している。

●今後の整備スケジュール

令和5年度	基本計画
令和6年度	基本設計
令和7年度	実施設計
令和8年度	整備予定



●施設予定内容

福祉会館・コミュニティーセンター
図書館の沼間分室・子育て支援センター
東部包括地域支援センター・駅前公衆便所
※ふれあい広場の機能も整備する予定

●市民意見の反映について

ワークショップを3回(7, 9, 10月)実施、
年明けに市民説明会、パブリックコメント

※幅広く市民の意見を聴取し、反映できるように市に求めています。

質問

市長は、公約に高齢者の移動手段の確保を掲げ、今任期中に実証実験を行い、めどをつけたいとのことだが、現在の検討状況は。

市長

これまで、デマンド型乗合タクシー等、実証実験を二度実施しているが、利用者数の伸び悩み等により本格運行には至らなかった。行政が需要を予測し、仕組みを考えても、移動ニーズは様々であり、その地域の住民同士が必要な移動手段を話し合い、地域全体で育てていくという姿勢が重要と考えている。どうやって実現可能な形に持っていくか、地域からの発意を機会があるごとにお願している。

消防第3分団詰所(沼間会館)建替え計画

第3分団詰所(沼間会館)は、築年数52年超の木造建築物であるため、老朽化が著しく、耐震措置が十分で



はなく、震災時等において、防災拠点としての機能が果たせなくなる事態が危惧されることから、令和6年度に建替え工事を実施します。

●第3分団詰所整備概要

- ・活動拠点としての機能強化として、災害活動用資機材の充実強化並びに収納する施設の確保
- ・仮眠スペース及びシャワー室等の確保

●施設整備に伴う変更点

消防団の活動拠点施設としての機能強化させるため、会館機能の廃止をしますが、施設管理は、3分団長が管理し、イベントや祭事等の際は、分団長と協議して使用できるように模索します。

皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

	御名前
	御住所
	連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: sagisaka@plum.ocn.ne.jp

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。